

来賓祝辞

上越市助役

中川周一

がら、改めて頑張つてまいる所存でございます。

さて、今年の冬、当市は豪雪に見舞われ、皆様方にも大変ご心配をおかけいたしました。一月には災害救助法が適用されたほか、高田地区では二十年ぶりの一斉屋根雪下ろしが実施されるなど、市民も大変苦しい冬でした。四月に始まった高田公園観桜会もこの雪の影響が心配されましたが、ふるさと交流会で皆様をお迎えした際には、皆様を歓迎するかのよう訪問前日に桜が開花いたしました。当日はあいにくの天候でございましたが、懐かしい方々と楽しいひと時をお過ごしいただけたのではないかと存じております。

まいりました。代読をさせていただきますと思います。
(以下、市長メッセージ。中川助役代読)
本日は、平成十八年度ふるさと上越ネットワークの総会のご盛会、誠におめでとうでございます。また、Jネットが平成九年七月に設立されて以来、今年で十年目の節目を迎えられますことに重ねてお祝いを申し上げます。

上越市助役の中川でございます。本来ならばJネット顧問でございますが、本日はあいにく朝からいくつかの行事がございまして、どうしても調整がつかず、代理で出席させていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

Jネットの皆様には、日頃からふるさと上越を温かく見守っていただき、また、ふるさと上越の発展・充実に対し、格別のご指導とご協力を賜っておりますことに、衷心より厚く御礼申し上げます。おかげさまで合併いたしました。自立に向けたまちづくりに職員一丸となつて取り組んでいるところでございます。

本日は、市長から合併後の今の現況等について皆さんにお話をさせていただく絶好の機会でございます。出席することが叶いませんので、市長から皆さん方へメッセージを託されて

皆様には、会の目的のとおり、さまざまな事業を通してふるさととの交流を深めていただいておりますほか、各種委員会の委員として上越市のまちづくりにご支援いただいておりますが、今年度から副会長の松川様からは行革推進専門員を、そして理事の井手様からは直江津港振興推進員をそれぞれお引き受けをいただくなど、市政運営にJネットの皆様のお力をお借りしな

上越市では今、北陸新幹線や上越・魚沼地域振興快速道路、直江津港などの基幹的なインフラ整備そして上越火力発電所建設等の大型プロジェクトを確実に推進するための取組を進めており、また、明年四月に予定している特例市への移行を実現し、名実とともに北信越地方の中心都市としての役割を担うための努力を続け、皆様のご期待に応えるよう自立したまちづくりを更に促進してまいります。

また、来年は京の都から配流された親鸞聖人が直江



津五智の居多ヶ浜に上陸し、この地で布教活動を始めて八百年という記念すべき年にあたります。

こうした機会をとらえて、ふるさと上越を広くアピールするためのシティセールスを力強く推進し、上越市の価値や知名度を高め、交流人口の拡大を図りながら上越ブランドを構築していく所存であります。

皆様にはこれからも変わることなく、ふるさと上越に格別のお力添え賜りますようお願いを申し上げます。私も皆様が誇れるふるさと上越のまちづくりに更に精進してまいります。

最後にふるさと上越の応援団である、ふるさと上越ネットワークの会員の皆様のますますのご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

平成十八年六月四日 上越市長 木浦正幸

代読でございました。本日の総会まことにありがとうございました。ありがとうございます。

